

平成 21 年度 財団法人浜松市フラワー・フルーツパーク公社 事業計画

1 運営の基本方針

「花とみどりのまち・浜松」の拠点施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」のある魅力あふれる園づくりを積極的に進め、来園者数の維持に努めてまいります。また、花き園芸、果樹園芸技術の更なる向上と園芸文化の情報発信機能を高めるとともに、近隣レジャー施設との連携を今まで以上に強化してまいります。園運営にあたっては効率的・効果的な組織編成、人員配置を実施する等経営の健全化に努めてまいります。

フラワーパークにおいては、今年度の9月19日より花と緑の国際的な園芸イベント「浜松モザイクカルチャー世界博 2009 浜名湖立体花博」が66日間の日程で開催されます。当公社としても長年にわたり培ってきた豊かな知識・経験を還元するべく、浜松モザイクカルチャー世界博 2009 協会と緊密に連携を取りながら、世界博の成功に向けた協力を行ってまいります。

また、この世界的イベントが当園で開催されることを契機に、今まで以上に営業活動を強化し、内外に園の存在感を発信するとともに、世界博終了後のフラワーパークオープニングにおいては、夜間開園イルミネーションを目玉に園の充実を図り、誘客に努めてまいります。

フルーツパークにおいては、園の中心事業である果物収穫体験で高品質の果実の提供に努め、人気果物を重視した植栽変更を継続していくほか、イチゴ狩りシーズンでは恒例のイベント（1～2月の雪遊び広場、3月のアーモンドフェスタ）に加え、白藤（総延長150m）の花をゴールデンウィークの新しい見所として組み合わせ、更に魅力ある園づくりに努めてまいります。また、地元関係者との協力により、ゲンジボタル観賞会やつり堀の開催のほか、奥浜名湖観光連絡協議会やグリーンツーリズム協会等と連携した事業を実施して、誘客につなげてまいります。

2 事業内容

(1) 共通事項

ア 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営、栽培技術の指導

(ア) 園内観覧乗物（トレイン）による広範な園内観賞の推進

(イ) 各種園芸教室・講習会の開催及び相談業務の推進

(ウ) 教育関係者及び児童生徒等研修生の受入

イ その他目的を達成するために必要な事業

(ア) 公社経営健全化の推進

(イ) 売店、遊戯施設及び駐車場の管理運営

(ウ) 大型イベントや各種行事の実施及びインターネット等メディアを活用した園内情報の随時発信

(エ) ボランティアガイドの育成及び園芸作業ボランティアの受入

(オ) 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進

(カ) ダイレクトメール等による誘客活動の推進

(2) 浜松市フラワーパーク

ア 花き類の栽培展示

(ア) メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾

(イ) チューリップ展示の充実

(ウ) 熱帯スイレンの展示

(エ) 花いかだによる水上装飾展示

(オ) 早春咲きのハナナ、スイセンの展示

(カ) アメジストセージをメインにした秋花壇の充実

(キ) 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実

(ク) 花梅園の修景及び早春ボタン特設花壇の充実

(ケ) 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示

イ 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営

(ア) 夜間開園の充実（夜桜、蛍の夕べ等）

ウ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営

(ア) ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進

(イ) 展示用植物の育成管理

(ウ) 熱帯植物の育成管理

(エ) 球根ベゴニアの育成管理

(オ) サボテン類、珍しい草花の育成管理

(カ) 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理

エ 花きの栽培技術の指導

(ア) キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定

オ 花きの優良種苗の生産及び配布

(ア) キクのオリジナル品種の育成及び配布

(イ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託

カ 浜松市からの業務の受託に関すること

(ア) 浜松市動物園関連の管理業務の受託

キ その他目的を達成するために必要な事業

(ア) レストラン、温室カフェ等便益施設の管理運営

(イ) 「蛍の夕べ」や各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進

(ウ) 動物園との合同イベント実施による誘客機能の向上

(エ) 館山寺温泉観光協会等地域観光施設との連携による重点地域（中京圏）への誘客
宣伝強化

(オ) 幼稚園、小中学校団体をはじめとした子供向け体験イベント等の企画充実

(カ) 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進

(キ) 「浜松モザイクカルチャー世界博 2009」緑花事業・便益事業等への協力推進

(3) 浜松市フルーツパーク

ア 果樹類の栽培展示

- (ア) 環境にやさしい果樹農業と省力管理技術の実証
- (イ) 施設栽培による作期前進及び高品質果実の生産
- (ウ) モモやリンゴ、ブルーベリー、温室ミカン等収穫体験での人気樹種の品種に植栽変更した果樹の育成管理
- (エ) 修景木の植栽整備及びトロピカルドーム等園内施設の管理運営
- (オ) パッションフルーツの長日処理による周年栽培等熱帯果樹類の育成管理
- (カ) メインエントランス（出会いの広場）周辺のコンテナ花壇装飾の充実
- (キ) アーモンドフェスタでの木柵花壇と藤、梅まつり等でのコンテナ花壇の装飾
- (ク) 早咲きハナナ、スイセンの展示とパパイヤを植栽した夏花壇装飾の充実
- (ケ) 紅葉の美しい樹種の充実

イ 果樹の優良種苗の生産及び配布

- (ア) 果樹類の品種の収集、保存及び新果樹・新品種の導入、試作及び展示
- (イ) 三尺バナナ、パパイヤの生長点培養による苗木生産及び販売
- (ウ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託・スターフルーツの栽培試験

ウ 浜松市からの業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市農業振興施設、リンゴ並木及び農林業体験実習館管理業務の受託

エ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) ふれあい市場等を利用した市民交流の推進
- (イ) くだもの収穫体験の充実と通年化の推進及び地元農家との連携による受入体制の組織化推進
- (ウ) デイキャンプ、ゲンジボタル観賞の夕べ、つり堀及び都田川の水遊び等自然資源の有効活用
- (エ) 無料大型遊具「宝くじ遊園」を利用した誘客活動、テナント等と連携しての誘客活動の推進
- (オ) グループ向けこども体験教室の情報発信
- (カ) 新しい見所である白藤のイベントの実施、広報活動の推進

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 人件費削減・職員数の見直し

定年退職、中途退職の補充を行わず、弾力的な人員配置や臨時雇用により対応し、人件費の削減を図ります。

区 分	本年度	前年度	増減
正規職員数	43 人	47 人	△4 人
その他職員数	1 人	4 人	△3 人
人 件 費	291,403 千円	317,409 千円	△26,006 千円

(2) CS（顧客満足）システム強化による愛される園づくりの推進

従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）の考え方を導入し、アンケート調査等に基づく顧客満足度の的確な把握とお客様の声をダイレクトに運営に反映させるシステム構築を推進することで、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等をマニュアル化し、その再発防止を徹底します。

イ アンケートで毎月数値化されて出てくる「顧客満足度値」の向上を図ります。

（平成21年度目標満足度値4.5点 平成17～19年度平均値4.3点/5点満点）

(3) 浜松市行財政改革推進審議会の答申について

平成21年3月、「平成21年度中にフラワーパーク、フルーツパークの存廃を決定すること」との答申がなされました。この答申は、公社存続の要否に関わる非常に重要な内容でありますので、公社としても設立時からの社会経済情勢の変化を踏まえ、両施設の運営体制・事業手法を検証するとともに、地域住民や関係機関等からの意見の集約を図り、両施設のあり方について市と協議してまいります。